SONY

リアスピーカー

取扱説明書

SA-RS3S

5-011-527-**01**(2)
©2020 Sony Corporation　Printed in Malaysia

⚠警告　電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

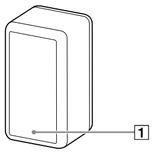
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機の対応機種について

本機は特定の対応機種とのみ動作するリアスピーカーです。本機に対応している機種については、ソニーのホームページでご確認ください。
本書では、対応機種HT-A7000と組み合わせた場合の操作方法を記載しています。

各部の名称とはたらき

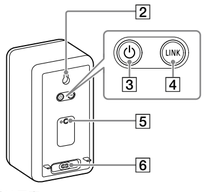
正面



1 電源ランプ
- ゆっくり点滅（緑色）：対応機種と未接続
- 点灯（緑色）：対応機種と接続中
- 2回ずつ点滅（緑色）：対応機種と接続待機中
- 点滅／点灯（アンバー色）：ソフトウェアアップデート中
- 点灯（赤色）：スタンバイ状態
- 消灯：電源オフ状態

ご注意
本機の電源ランプの明るさは、対応機種の本体表示の設定に連動します。

背面

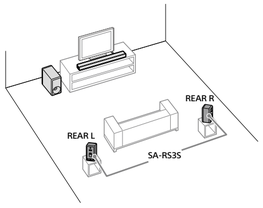


2 壁掛け用穴
3 ⏻（電源）ボタン
4 LINK（リンク）ボタン
5 スピーカースタンド用取り付け穴
6 AC入力端子

本機を設置する

床に設置する

下記の設置図は、対応機種HT-A7000と別売のサブウーファーを組み合わせた場合の例です。



1 本機の底面にあるラベルでスピーカーの左右を確認する。
「REAR R」が右、「REAR L」が左です。

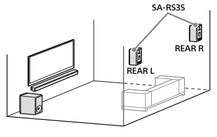
2 本機をリスニングポジション（音を聞く位置）より後ろに置く。
サラウンドを効果的に楽しむために、次の置きかたをおすすめします。
- 本機の高さを耳の位置に合わせる
- スピーカーをリスニングポジションに向ける

ご注意
底面のラベルがある位置を下にして本機を設置してください。それ以外の置き方には対応していません。

ちょっと一言
より良い音でサラウンド効果を楽しむためには、対応機種のメニューでスピーカーの距離を設定してください。
詳しくは、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

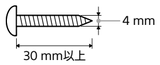
壁に取り付ける

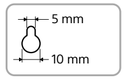
下記の設置図は、対応機種HT-A7000と別売のサブウーファーを組み合わせた場合の例です。



ご注意
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分配慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。

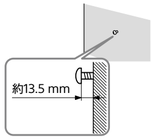
1 本機背面の穴に合う市販のネジを用意する。



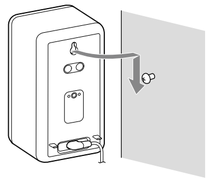


本機背面の穴

2 壁にスピーカーをかける高さを決め、その位置にネジをとめる。



3 本機背面の穴をネジにかける。
底面のラベルを確認して左右の判別をします。
「REAR R」が右、「REAR L」が左です。



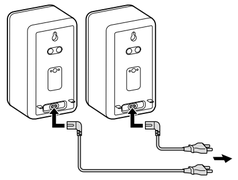
ご注意
壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
左右のスピーカーの高さが同じになるように、本機を補強された壁に取り付けてください。

本機をつなぐ

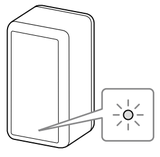
ちょっと一言
別売サブウーファーを設置する場合も、下記と同じ方法で対応機種と接続できます。

1 対応機種の電源を入れる。

2 本機に電源コード（付属）をつなぎ、次にその電源コードをコンセントにつなぐ。



3 本機の電源ランプが緑色に点灯していることを確認する。
電源ランプが緑色に点灯しているときは、本機と対応機種の接続は完了しています。
接続できない場合は、手動で対応機種につないでください。詳しくは、「自動で接続しないとき」をご覧ください。



自動で接続しないとき

本機を対応機種に自動でつなぐことができない場合や、複数の対応機種を使用しているときに本機をつなぐ対応機種を指定したい場合は、手動でつないでください。
下記は、対応機種HT-A7000とつなぐ場合の操作方法です。対応機種に付属のリモコンを使用して操作してください。
その他の対応機種の操作手順は、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで 🧰［設定する］-［詳細設定］を選ぶ。

3 ［スピーカー設定］-［ワイヤレススピーカー設定］-［手動リンク開始］を選ぶ。
［手動リンク開始］画面がテレビ画面に表示されます。

4 本機のLINKボタンを押す。
本機の電源ランプが緑色に2回ずつ点滅します。

5 ［開始］を選ぶ。
手動リンクの設定を開始します。
接続状況がテレビ画面に表示されます。
手動リンクを止めるには、［中止］を選びます。

6 ［リアスピーカー（左）］および［リアスピーカー（右）］が［接続済み］になったら［完了］を選ぶ。

7 決定ボタンを押す。
リンクが完了し、本機の電源ランプが緑色に点灯します。

ご注意
- ［手動リンク開始］を行うと、［ワイヤレススピーカー設定］の［リンクモード］は自動的に［手動］に設定されます。
- 手順6で［接続済み］になったスピーカーだけが対応機種となります。本機の接続がうまくいかなかった場合は、手動リンクを再度行ってください。

ワイヤレス通信が不安定なとき

無線LANやBLUETOOTH機器など複数のワイヤレス機器をお使いの場合、本機のワイヤレス通信が不安定になることがあります。この場合、下記の設定を変更することで改善することがあります。
下記は、対応機種HT-A7000とつなぐ場合の操作方法です。対応機種に付属のリモコンを使用して操作してください。
その他の対応機種の操作手順は、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで 🧰［設定する］-［詳細設定］を選ぶ。

3 ［スピーカー設定］-［ワイヤレススピーカー設定］-［ワイヤレス周波数設定］を選ぶ。

4 設定を選ぶ。
- ［入］（お買い上げ時の設定）：通常はこの設定にします。自動的にワイヤレス通信に最適な周波数を選びます。ワイヤレス混線に強いモードです。
- ［切］：ワイヤレス混線を避けるために、周波数帯を固定します。［入］を選んで音切れする場合は、［切］を選ぶと改善することがあります。

ご注意
［ワイヤレス周波数設定］を［切］から［入］に切り換えた場合、再接続に1分ほどかかることがあります。

困ったときは

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。
下記は対応機種HT-A7000と組み合わせてお使いの場合の対処方法です。
その他の対応機種と組み合わせてお使いの場合は、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

本機から音声が出ない
→ 本機の電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。
→ 本機の電源ランプが消灯している場合は、以下を試してください。
- 本機の電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。
- 本機の⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。
→ 本機の電源ランプが緑色でゆっくり点滅、または、赤色に点灯している場合は、以下を試してください。
- 本機の電源ランプが緑色に点灯するように、本機を対応機種の近くに動かす。
- 「自動で接続しないとき」の手順を行う。
- ワイヤレス接続の状態を確認する。詳しくは、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

→ 対応機種に付属のリモコンのリア音量＋ボタンを押して、リアスピーカーの音量を上げてください。
→ 対応機種の［ワイヤレス周波数設定］を［切］から［入］に切り換えた場合、音声を出力するまで1分ほどかかることがあります。
→ 電源ランプが赤色で点滅している場合は、電源コードを抜いて、再度電源を入れなおしてください。

音が途切れる、ノイズが出る
→ 無線LANや電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使ってください。
→ 本機と対応機種との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
→ 本機と対応機種をできるだけ近づけてください。
→ テレビ、ブルーレイディスクレコーダーなどの無線LANを有線LANに切り換えてください。

主な仕様

アンプ部
実用最大出力（非同時駆動、JEITA*）
50 W、6 Ω、1 kHz
* JEITA（電子情報技術産業協会）による測定値です。
形式
2ウェイ2スピーカーシステム
バスレフ型
使用スピーカー
ウーファー：46 mm × 54 mm コーン型
ツイーター：16 mmドーム型
電源
AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力
電気用品安全法による表示：11 W
スタンバイ状態のとき：1 W以下
電源オフ状態のとき：0.5 W以下
最大外形寸法（約）（幅／高さ／奥行き）
100 mm × 187 mm × 100 mm（突起部除く）
質量（約）
1.1 kg

ワイヤレストランスミッター／レシーバー部

通信方式
Wireless Sound Specification Version 4.0
使用周波数帯域
5 GHz
変調方式
OFDM

同梱品

- リアスピーカー R（1）、リアスピーカー L（1）
- 電源コード（2）
- 取扱説明書（1）

本機のソフトウェアについて

本機には、GNU General Public License（“GPL”）または GNU Lesser General Public License（“LGPL”）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。
このため、お客様には GPL/LGPL の条件に従って、これらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
GPLまたはLGPL、その他本機に含まれるソフトウエアライセンスの確認方法については、対応機種の取扱説明書をご覧ください。
対応機種HT-A7000をお使いの場合は、ホームメニューから 🧰［設定する］→［詳細設定］→［本体設定］→［ソフトウェアライセンス］で確認できます。
GPLv2等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。
DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限らせて頂きます。
https://oss.sony.net/Products/Linux
その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック
「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ
ソニーの相談窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名
- つないでいるテレビやその他の機器のメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

型名：SA-RS3S

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……0120-333-020	フリーダイヤル ……0120-222-330
携帯電話・PHS：一部のIP電話 ……050-3754-9577	携帯電話・PHS：一部のIP電話 ……050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「306」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味
本取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
火災　感電

行為を禁止する記号
禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号
指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告　火災　感電
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない　禁止
火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。
➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない　禁止
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本機を本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐと、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。
過熱して火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する　指示
本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない　禁止
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない　分解禁止
火災や感電、けがの原因となることがあります。
➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない　接触禁止
感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない　禁止
交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない　禁止
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 設置時、本機と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源コードを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

⚠注意
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない　ぬれ手禁止
感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない　禁止
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをおすすめします。

安定した場所に置く　禁止
ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

コード類は正しく配置する　禁止
電源コードは足にひっかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く　プラグをコンセントから抜く
長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く　プラグをコンセントから抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

設置上のご注意
本機の角でけがをしないようにお気をつけください。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない　禁止
清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない　禁止
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない　禁止
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

医療機器に近づけない　禁止
本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

リアスピーカーについて
機銘板は底面に貼ってあります。

使用上のご注意

- 次のような場所には置かないでください。
  - 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。
  - チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本機をそれらの機器から離して設置してください。
  - 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近く。
- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りに金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- 電気通信事業法により、無線モジュールの変更は禁止されています。
- 法令により本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

付属の電源コードについて
付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お手入れについて
キャビネットは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。
研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本機を分解／改造すること